



こだま

高川公民館 KODAMA

高川地区キャッチフレーズ
～高川で“わくわくわく”
湯がわく 和がわく 笑顔わく
TEL 83-1001 FAX 83-0486

秋の気配の維新の道を行く

第13回 龍馬脱藩の道を歩こう

10月19日(土)、今回で第13回目となる「龍馬脱藩の道を歩こう」イベントが開催されました。同イベントは川津南維新の会(亀岡陽介会長)とNPO法人龍馬学援隊の主催で、西予市観光協会をはじめ西予市愛護班連絡協議会など、多くの団体の協力のもと開催されているものです。

西予市内外からの参加者約70人は、開会行事後、高知県梼原町にある維新の群像(門)に立ち寄りしました。こちらには、龍馬の脱藩に尽力した8人の志士の群像が建立されており、その詳細な解説を梼原町史談会の伊藤会長から聞かせていただきました。参加者は初めて見る群像に驚いたり、解説を熱心に聞いたりしていました。

その後、参加者は、同町の宮野々関所跡に移動し、元気に脱藩の道歩き始めました。今年のは、ルートの中に通る箇所があるため、九十九曲峠の頂上まで歩き、そこからはバスで高川公民館に戻ってくるルートとなりました。また、あいに曇り空と霧が出ていたせいで、見晴らしのよい景色を眺めることはできませんでしたが、豊かな自然と爽やかな秋の風を感じながら歩いていました。



お楽しみのお昼食では恒例となったツガニがたくさん入った芋炊き、いのしし肉や和牛のバーベキュー、新米のおにぎりなど豪華な料理が振る舞われました。そのおもてなしに舌鼓を打ち、高川の秋の味覚を楽しんでいました。



龍馬脱藩の道「歴史の道百選」に!

龍馬脱藩の道を歩こうイベントやフットパスのコースにもなっている「梼原街道九十九曲峠越」が、「歴史の道百選」に選定されました。これは、文化庁が往時の姿を残し歴史的・文化的な由緒を持つ古道などを選定するものです。

梼原街道九十九曲峠越は、幕末に土佐藩を脱藩する坂本龍馬らがたどったとされ、川津南維新の会が中心となり、道の保全や活用を行ってきました。昔から行われてきた地元の積極的な活動が実を結んだ結果となりました。



川津南維新の会からは、先輩方が行ってきた活動があったの選定。これからも保全と歴史の伝承に励みたい」と喜びの声。選定おめでとうございました!

高川婦人会 スポーツ交流会

10月25日(金)、高川婦人会 窪田みどり(会長)のスポーツ交流会が行われました。

今年度は、『アイスコン』というニュースポーツを行いました。これは、カールリングにも似たスポーツで、赤青に分かれたチームが、黄色の的に向けて交互に直径10センチメートルほどのディスクを投げ、黄色の的に一番近いディスクのチームが得点できる、というものです。

初めて投げるディスクやルールに戸惑う参加者も多くいましたが、プレーを続けるうちにコツをつかみ、ぞこ狙う?」あそこに投げたらいいんやない?」と徐々に戦略的な投げ方をするチームも。一投ごとに歓声や笑い声が絶えない楽しいひと時となり、会員同士の交流も深めることができました。



↑「あそこに投げたらいいんやない?」

高川地区秋祭り

11月3日(木・祝)、高川地区秋祭りに恒例の牛鬼が地区内を練り歩きました。早朝7時に八幡神社、三柱神社から宮出しされたそれぞれの牛鬼は、高川地区内の全戸を練り歩き、今では貴重な地域行事となっています。今年も、SUIJIの愛大生8人が朝から参加し、牛鬼を担いだり子どもたちと笛を吹いたり、牛鬼を盛り上げてくれました。

立ち寄る先々でおいしいお酒やごちそうが振る舞われ、牛鬼の足元がおぼつかない場面も。大番はそれ以上にご機嫌となり、威勢の良い悪魔祓(あくまばらい)の掛け声が地域内に響きわたりました。

この牛鬼、高野子区は牛鬼保存会が、川津南区は維新の会がそれぞれ担当していますが、担ぎ手の確保が年々厳しい状況に。秋祭り唯一の催しを支え継続していくためにも、地域の皆さんの協力をよろしく願います。



↑高野子の牛鬼

→川津南に現れた子ども大番

ご案内

高川公民館年末大掃除 高川地区社会教育セミナー

今年、公民館年末大掃除と社会教育セミナーを下記のとおり同日開催します。年に1度の取り組みですので、多くの方の参加をお待ちしております。

【日時】12月22日(日) 【場所】高川公民館

■高川公民館年末大掃除 8:00~9:30

高川公民館を定期利用されている団体の方を中心に参加依頼をしております。年明けから気持ちよく使用ができるようご協力をお願いします。(該当団体長に別途依頼しています。)

■高川地区社会教育セミナー 10:00~12:00

テーマ「みんなで考えよう!高川未来予想図(予定)」

高川地区では、「高川地域づくり計画書」を基にさまざまな地域づくりが行われておりますが、計画書の更新が必要な時期にきております。今年度の事業『高川デザインプロジェクト』で高川について学んだ子どもたちと一緒に、気軽に高川の未来について話し合ってみましょ